

国語科学習指導略案（第1学年A組 男子8名, 女子21名）

平成31年2月15日（金）1限
授業者：宮下 敦郎

- 1 単元名：作品を読み解く
- 2 教材名：「少年の日の思い出」（東京書籍）
- 3 本時のねらい：『登場人物に関する語句や表現を集めて、言葉と言葉、言葉と対照との関係に気づき、人物像を捉える。』（読むこと）
- 4 準備物：教科書 ワークシート 辞書
- 5 本時の学習過程（第3時／全7時間）

生徒の学習活動及び発問・予想される生徒の反応

- 「僕」「エーミール」をどんな人物と感じたか、印象を確認する。

・留意点 ○評価【観点】（方法） ※手立て

- ・事前に配布済みのワークシートには、「僕」と「エーミール」をどんな人物と感じたか記入しておく。

めあて：言葉にこだわって、「僕」と「エーミール」の人物像を捉えよう。

- 「僕」に関する語句や表現を、それぞれの場面で見つけてワークシートに記入していく。

〈「僕」に関する語句群〉

心を打ち込む,すっばかす,駆け歩く,うっとりした感じ,待ちきれない,羨ましい,宝を探す人,なんか,古いつぶれたボール紙,幼稚,ないしょ,興奮,おもちゃ,飛びかかる,など

- ・作業の途中に互いのノートを見てもよい。
- ※チョウに対する態度の違いに着目するように促す。

- 語句に着目し、気がついたことを書き込む。

- 気がついたことを交流し、性格をまとめる。〈グループ〉

- 「エーミール」に関する語句や表現を、それぞれの場面で見つけてワークシートに記入していく。

〈「エーミール」に関する語句群〉

小ざれい,正確,模範少年,専門家,鑑定,値踏みする,難癖をつける,批評家,舌を鳴らす,「そうか,そうか,つまり君は」,冷淡,軽蔑的,冷然,など

- ・判断の根拠は常に本文中の表現に求める。
- ・「僕」についてまとめる活動と同様に行う。

〈めあての評価〉

作品中の言葉を根拠に「僕」と「エーミール」の人物像を捉えている。

〈ねらいの評価〉

作品中の表現に基づいて、対照的な二人の人物像を捉えている。

- 語句に着目し、気がついたことを書き込む。

- 気がついたことを交流し、性格をまとめる。〈グループ〉

山場：言葉を丁寧に拾い上げて、それらを結びつけていくと、自分の読み取りがどの言葉によるものだったのか、また、二人の人物像がさらにはっきりしてくるなあ！

〈振り返り・まとめ〉

- 作品中に使われている言葉を引用しながらそれぞれの人物をどう思うかまとめましょう。